

総合戦略の見直し

(関係部分の抜粋)

重点戦略（１）「世界基準の観光地域づくり」

<関連する基本目標>

1. しごとで活力を「つくる」

3. まちの魅力を「みがく」

日本列島をつなぐ新幹線の南の発着点であり、東アジアに近接する陸・海・空の交通結節点でもある本市にとって、観光関連産業の発展や成長は重要です。地域経済のさらなる活性化のためには、観光を持続性のある地域ビジネスとして、より発展させていくことが必要不可欠と言えます。

平成 26 年の本市観光統計では、宿泊観光客数が 336 万 6 千人と前年を上回りましたが、とりわけ外国人宿泊観光客数が 12 万 6 千人で前年比 31.3%増と大きく伸びており、インバウンド¹⁵が大きな可能性を秘めています。

このような中、本市では「旧集成館関連遺産群」を含む「明治日本の産業革命遺産」が世界文化遺産に登録され、また、「桜島・錦江湾ジオパーク¹⁶」の世界ジオパーク認定に向けて取組を展開しており、これらを絶好の機会として、特に外国人宿泊観光客数の拡大に向け、戦略的かつ広域的に取り組むため、鹿児島観光コンベンション協会¹⁷の組織体制の充実・強化並びに民間との連携の強化を図り、ストーリー性を持った魅力あふれる世界基準の観光地域づくりを進め、若者にとって魅力的な雇用の場を創出するとともに、交流人口の増加による地域経済の活性化を図ります。

主な施策及び重要業績評価指標（KPI）

(1) 世界に誇りうる地域資源の活用

- ① 世界文化遺産の活用
- ② JR磯駅の設置に関する検討支援
- ③ 世界ジオパーク認定に向けた取組の推進

(2) 外国人観光客の誘致・受入体制の整備

- ① 鹿児島観光コンベンション協会の組織体制の充実・強化
- ② 東アジア等に向けた観光プロモーションの推進
- ③ 外国人観光客の受入体制の充実

重要業績評価指標（KPI）	基準値	目標値（H31）
外国人宿泊観光客数	12 万人 (H26)	26 万人

¹⁵ 外から入ってくる旅行、一般的に訪日外国人旅行を指す。海外旅行はアウトバウンド（outbound）という。日本ではアウトバウンドに比べ、インバウンドの数が著しく少ないことから、2003 年に国は「外国人旅行者訪日促進戦略」を掲げ、現在は「訪日旅行促進事業（ビジット・ジャパン事業）」が行われている。

¹⁶ ジオ（地球）に関わる自然遺産（地層・岩石・地形・火山・断層など）を含む自然豊かな「公園」のこと。

¹⁷ 平成 25 年 4 月から公益財団法人。平成 7 年 4 月に、社団法人鹿児島市観光協会と財団法人鹿児島コンベンションビューローが再編一体化して設立。鹿児島市と鹿児島県が有する文化的・社会的・経済的特性を生かし、観光客やコンベンション（国内外の人が集まる各種大会や会議、見本市、イベントなどの催し）の誘致などに関する事業を行っている。